

# 調査員物語

## 調査員たちの原風景 その1.

私は伊藤美穂子です。専門は植物。就職時に東京からここ北海道に来ました。

私がこの分野に進んだきっかけは「卒業論文」でした。

大学では林学科に在席。その頃は植物の情熱はそれほどもちあわせておらず...

そこに卒論テーマ「三峰山の植物相(栃木県)でフロー調査を行った事が大きかったです。

でも、最初は事の重大さがわかっていませんでした。

「調査範囲の全種標本を作る」という作業の前に、改めて愕然!

1年間で2800余点。標本づくりも勿論ですがその同定作業ときたらんまあ、当時膨大な時間と労力がかかりました。

先生、特有の植物相だからさあおもしろい...  
ハア、まあわかりました。  
ホトはわかってない...

楽して標本集めろ...  
エヘ...

「広い」  
「ぐえ」

「標本の山」  
「ウーン...」

わーい! 私、就職決まったのよ!  
おめでとー、私もこの前決まったわ!  
...で美穂子? は?

ぬわに〜? 今の私は卒論どころか同定作業も終わってないよ!

就職活動にさえたどりつけない私の...私の...私の

しかし、少しずつ今までのない充実感と新たな視野も芽生えてきました。

ま、ヒトはヒト、私は私...

それは今まで漠然と見えていた植物がひとつひとつ色付いて見えてくる。全体が立体的にあかってくるという感覚です。

同定作業さえも「次は?」という意欲まで出てきて自分でも驚き!

卒論終盤にはすっかり植物の世界にのめりこんでいったのです。

...そしてつまるどころ今日の私があるわけですよ。

7474...

おまえは○○○○だったのね  
ああ スッキリ!

ホホウ! なるほど  
ズイ!

時々あの頁を思い出します。いろいろ不安でしたが精一杯やれば良かった。この分野でやってゆくきっかけを見つけたのですから。

最初あの頁は本当に標本と同定作業は面倒くさかった。

今ではちょっとした「楽しみ作業」と考ながらやっています。

卒業終了

卒業終了

楽しいとスグ終わるよね。今日は早めにあかしてスキーにでも行こ!

ほほー。同定作業が楽しいというのだね?

え〜。伊藤ちゃん、本当〜?

ムフフ。そういうことならもっと植物の世界を堪能させてあげましょう!

エヘヘ伊藤ちゃん、この同定作業もよろしくねー!!

給料が倍ならね!

植物チーム 渡辺氏  
岡田氏  
\*N.L. No.15で登場

「標本」  
「冗談じゃないよ...」

浜田支社長

原案:伊藤美穂子 絵:飯塚要